



社会福祉法人  
八戸市社会福祉事業団

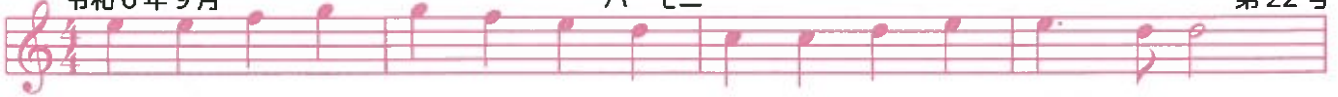
〒039-1166 八戸市根城八丁目8番39号  
電話：0178 (41) 1215 FAX：0178 (45) 1450  
HP：https://www.hsfj.or.jp



いちい寮…「ウミネコ」の繁殖地として知られる蕪島神社で記念撮影

社会福祉法人八戸市社会福祉事業団 組織及び事業

事務局管理課	
在宅サービス課	老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・訪問入浴介護事業・居宅介護支援事業・訪問入浴サービス事業
うみねこ学園	障害児入所施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
うみねこ塾	障害児通所支援事業
いちい寮	障害者支援施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・日中一時支援事業
長生園	養護老人ホーム
長生園デイサービスセンター	老人デイサービス事業
浩々学園	児童養護施設
小菊荘	母子生活支援施設



日帰り旅

児童養護施設 浩々学園

当園では、6月に日帰り旅行を実施しました。幼児は仙台市のアンパンマンミュージアム、小・中学生は青森市の浅虫水族館とまきばレストランに行きました。

幼児は、普段おもちやで遊んでいる新幹線を初めて見て大興奮！寝ることなく、窓からの景色や職員との会話を楽しみました。到着後は館内のアトラクションや、展示に大喜び！大好きなアンパンマンと一緒に写真を撮ったり、うどんやフライドポテトを食べたり、笑顔が溢れる旅行となりました。帰ってから、旅行先での出来事を楽しそうに話をしていました。

小・中学生はドライブしながら青森市へ向かいました。車中では職員と水族館で楽しみにしていることを話したり、しりとりをするなど盛り上がっていました。到着後まず、真珠取り体験をしました。大きさや形を見ながら、真剣に貝を選び、真珠を見つけた時には



土産の金額を考慮しながら、かわいいキーホルダーやぬいぐるみを買っていました。水族館の後は「まきばレストラン」へ移動し、みんながバーベキューをしました。山盛りのお肉に驚きながらも、自分で焼いて、そして食べて、笑顔いっぱいでした。

とても嬉しそうでした。その後の自由行動では、自分が気になる展示を職員と一緒に見て回りました。素早く泳ぐアシカ、歩く姿が可愛いペンギン、気持ちよさそうにプカプカ浮かぶアザラシ、大きなエイやタイに目をキラキラさせ、ヒトデやナマコ、カニを触ることのできるエリアでは、少し緊張した様子で生き物に触れていました。



た。子ども達は、お店にいたポニーに興味津々。噛まれないか、恐る恐る餌をあげたり、慣れしてくると頭を撫でたりしていました。たくさん遊んで疲れたのか、車中ではぐっすり寝ながら帰路につきました。

高校生については、涼しくなった秋頃には、「イルカショーがすごかった！」「また行きたい！」「ご飯が美味しかった！」「楽しかったから今度は別な場所にも行ってみたい！」との声が多く聞かれ、園内には楽しかった旅行の余韻が残っています。

(内村)





# 将来に生かせる活動

## 放課後等デイサービスセンター

### うみねこ塾

うみねこ塾では、今年の3月に利用児童が高等支援学校を卒業し、開設後、初めてとなる卒業生を送り出しました。卒業した児童は新たな環境で、新たな出会いや経験をすることと思えます。

学校卒業後の環境で生き生きと生活を楽しめるように、うみねこ塾では将来の自立に向けた取り組みを行っています。今回はその一部を紹介します。

#### 【園芸活動】

園芸活動は開設当初から毎年継続して行っていて、今年も、プランターでミニトマト、ピーマン、ひまわりを育てています。毎年行っているということもあり、職員の指導の下、慣れた手つきで苗を植える様子が見られます。小学生に優しく水やりの仕方を教える中学生や、収穫の時期をとっても楽しみにしている児童からの帰り道に野菜の観察をしている児童



童もいます。園芸活動を通じて、食物を育てて食す過程を感じながら、自然と他学年との交流も深めることが出来ます。

#### 【外出活動】

外出活動は公共交通機関の利用や公共施設でのマナー、金銭の使用を学ぶことを目的とした行事で毎年夏休み期間中に実施しています。夏休みのお出かけ、買い物は児童たちにとってドキドキわくわくする行事です。活動内容や行先は個々の特性によって違いがありますが、児童たちが今後の生活に生かせる経験となるように、計画を立てて実施しています。外出活動を終えてうみねこ塾に帰ってきた児童たちは、自信に満ちた表情を浮かべ、とても頼もしく見えます。

日々の活動としては、個々に合わせた学習課題や生活スキルの向上を目指し、清掃や食器洗い等を行っています。また、ハサミを使った制作活動や手芸など、手先の器用さを生かしながら余暇活動を過ごしている児童もいます。今後も利用児童一人一人の将来を見据えた関わりや活動を大切にしながら、支援に努めていきたいと思えます。

(高橋)



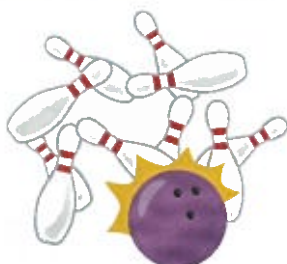
# ボウリング会

## 母子生活支援施設 小菊荘

6月にゆりの木ボウルで児童ボウリング会がありました。小菊荘には、小学生以上の児童で構成されることも会があり、小学生7名、高校生1名の合計8名が参加しました。ボールを選ぶ時は、実習生と一緒に選ぶお手伝いをしてくれました。自分のボールが決まり、3チームに分かれてゲームが始まりました。ボウリングをやったことのない児童は、両手で投げて楽しんでいました。自分の順番以外でも投げたい様子も見られましたが、職員がルールを伝えるときちんと待つことができました。ピンが中々倒れないと機嫌が悪くなることもありましたが、倒れるまで頑張って投げて楽しんでいました。ボウリング会が終わった後、絵日記を書いて思い出を振り返っていた児童もいました。

色々な体験の積み重ねで社会性や協調性を身に付けて成長していく児童の姿が見られたボウリング会でした。

(岩間)





### 畑作業

#### 障害児入所施設 うみねこ学園

うみねこ学園では、各ユニットの畑を利用し毎年児童たちが野菜の苗を植えて収穫をしています。

女子ユニットではトマトときゅうり、男子ユニットでは枝豆とさつまいもとトマトを植えています。

5月、職員と一緒に畑を耕すことから始まり、畝を作ったり、雑草を抜いたり、当番を決めて水やりをしたり、自主的に楽しく作業をしています。

今年度は、畝作りのコツや苗の植え方、適切な収穫時期や収穫方法などを農業経験のある児童から教わりながら育てており、収穫への期待が高まっています。

畑作業は、畑の作り方や野菜の育て方を知っただけではなく、協力することを学ぶ場でもあると思います。虫やカラスの被害に苦悩したり、日当たりの関係で育ちが悪かったりと、うまくいかないこともありました。

ですが、みんなが協力し合いながら野菜の成長を見守っています。みんなが育てた野菜が大きく育ち、無事に収穫を迎えた時は達成感でいっぱいです。

一生懸命育てた野菜は、調理実習で使っています。児



童たちは、自分たちが育てた野菜を調理して食べることも楽しみにしているようです。今年度は、収穫できた野菜で何を作ろうか、みんなが相談したいと思っています。

(舩谷)



### 園芸活動

#### 養護老人ホーム 長生園

長生園では入所者が、園芸作業を通して日々楽しみを持ちながら、身体機能の維持向上及び、認知症の進行遅延に努めることを目標に園敷地内の園芸スペースで、園芸作業に取り組んでいます。

春になると地域住民の方々が草刈り、土起こしに来てくださいます。地域の皆さんの協力を得て園芸スペースを整えていたただいた後、種苗植えや水やり、草取りなどの

作業を行います。

入所者の中には農家として生計を立てていた方や、趣味で花や野菜を育てていた方など、知識や経験が豊富な方がたくさんいて、育てる野菜や花については、皆さんと相談して決め、今年度はトマト、じゃがいも、オクラ、大根、カボチャ、グラジオラス等を育てることにしました。

たくさんの方が園芸作業に参加しており、一生懸命作業に取り組んでいます。事情により参加できない方も、野菜や花の成長を見るのを楽しみにしていて、廊下で足を止めて作業の様子を見守っています。

今年も気温が高い日が続いているため、熱中症予防対策として、こまめな水分補給と気温の低い時間帯に作業するようにしています。

順調に野菜が育ってきており、入所者から収穫を心待ちにしている声が聞かれています。

園芸作業を通じて長生園の目標である「元気で長生き」の実現に向けて、入所者が日々の生活の中で楽しみを持てるような支援を提供していきたいと思っています。

(木村)



# 利用者外出

## 障害者支援施設 いちい寮

いちい寮では、昨年度より新たな行事として「利用者外出」が始まりました。過去に「利用者旅行」として宿泊や日帰りでの旅行を行ってきましたが、新型コロナウイルスの流行や利用者の高齢化などに伴い、遠出が難しくなってきたことから、代替として企画された行事です。

今年度の利用者外出は、約1ヶ月の期間を設け、ショッピングセンターでの買い物やレストランでの食事を企画しました。また、長時間の外出や人混みが苦手な方のために、市内をドライブした後、弁当やデザートをテイクアウトして寮内で食べるといった企画も立て、利用者の希望や特性などを考慮し、小グループ単位で出掛けることができるよう複数用意しました。

特に大型ショッピングセンターでの買い物のコースは、担当職員と一緒に衣類や靴などを実際に手に取って、買い物を楽しんだり、フードコートでメニューを見て好きな食事を食べるなど、普段はできない体験だけに利用者からは大変好評でした。

今後も利用者が張りのある生活を送ることができるよう、要



望などを踏まえながら、皆様に喜んで頂ける行事を企画していきたくと思います。



# カラスに注意！ カラスのトリ扱い説明書

## 在宅サービスク

カラスは3月頃から巣を作り始めます。電柱や庭木などに巣を作り、盛んに餌を運ぶ姿が見られるようになります。職員の出勤経路の近くの公園でも親ガラスがヒナを守るために大きな声で鳴いたり、威嚇行動をとったりする時期がありました。カラスやヒナを見つけたら、近づかない

事が一番ですが、迂回できない場合はカラスや巣の辺りを注視しないように気を付けて素知らぬふう素早く通り過ぎましょう。

【カラスから身を守るためには？】

□傘を差す

カラスが近づくとを阻止しつつ、後頭部を守ります。つばのある帽子をかぶることも有効です。

□壁際に寄って歩く

カラスが飛びにくい場所を歩くことによつて身を守ります。

□腕を真上に向けて動かさない

カラスは翼に物が当たることを嫌がるので、攻撃をためらわせることが出来ます。

カラスの習性を知って、危害を加えられないようにしていきましょう。また、公園内を通る方は十分に注意しましょう。

(工藤)





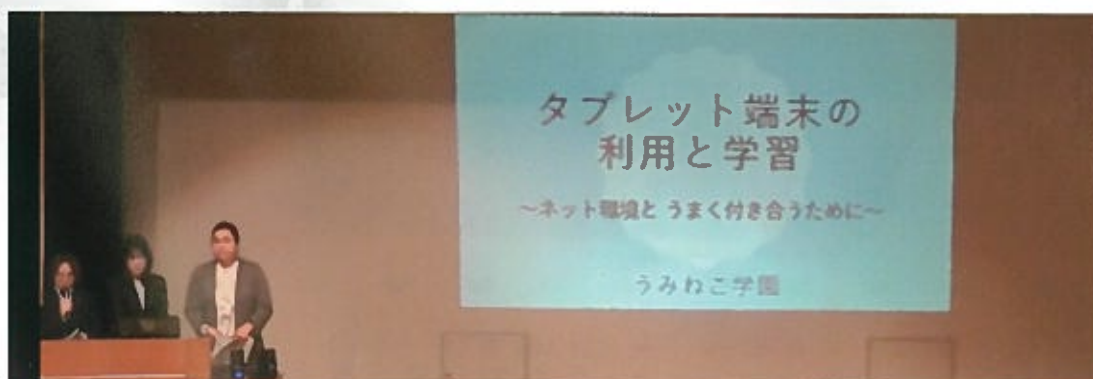
## 令和5年度実践研修報告会

当事業団では、毎年、職員自己評価を実施しています。この自己評価をサービスの質の向上につなげるため、評価結果から得られた課題を分析し、改善策を講じ、主任を中心にチームで取り組みます。その経過を法人全体で共有する場が1月に開催している「実践研修報告会」です。

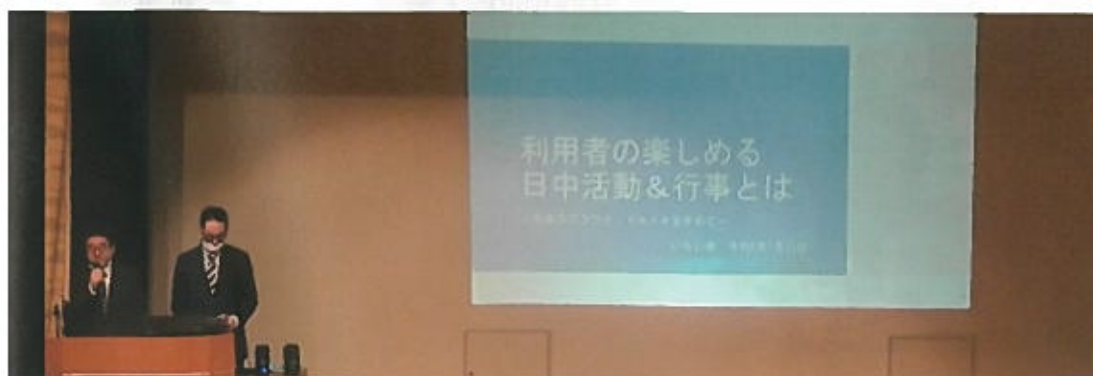
実践研修報告会には、理事、監事、評議員をお招きし、各施設・課で取り組んだ内容を報告します。理事長、専務理事、施設長、課長による審査員が、「課題の明確化、実践計画、計画に沿った取組、取組結果の評価、成果の共有」の5つの項目について採点し、総合点が一番高かったチームに理事長賞、「計画に沿った取組」項目の点数が一番高かったチームにチームワーク賞が授与されます。

令和5年度は、うみねこ学園チームが理事長賞を、いちい寮チームがチームワーク賞を受賞しました。

施設（課）名	テーマ
在宅サービス課	「ICT活用へのはじめの一步 ～ネット環境とうまく付き合うために～」
障害児入所施設 うみねこ学園	「タブレット端末の利用と学習 ～一步踏み出すことにチャレンジ～」
障害者支援施設 いちい寮	「利用者の楽しめる日中活動&行事とは ～日中のワクワク・ドキドキを求めて～」
養護老人ホーム 長生園	「アナログからデジタルへの挑戦」
児童養護施設 浩々学園	「子ども達の自立へ向けての取組み」
母子生活支援施設 小菊荘	「退所後のアフターケア～地域で安心して暮らすために～」



うみねこ学園



いちい寮

# 新任職員紹介



事務局管理課

**間 専務理事 兼 事務局長**

趣味：スクーターでのツーリング  
皆様方の笑顔が見られるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局管理課

**松田 課長**

趣味：旅行・読書・トレッキング  
事業団の認知度向上と快適な職場環境作りに努めます！



在宅サービス課

**山村 課長**

趣味：テレビ・ドラマ鑑賞  
4月から在宅サービス課で勤務させていただいております。いくつになってもチャレンジ精神で頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。



在宅サービス課

**知崎 訪問介護員**

趣味：懸賞・Netflix 鑑賞  
「利用者様を大切に想う気持ち」を心掛け、より良いサービスに繋がっていきます。



在宅サービス課

**小泉 訪問介護員**

趣味：登山  
利用者様に寄り添ったサービスを提供できるよう努めて参ります。



うみねこ学園

**森 児童指導員**

趣味：旅行・サウナ  
明るく、信頼される支援者になる！



うみねこ学園

**木村 児童指導員**

趣味：DIY・アウトドア・フットサル  
スノーボード  
日々学び、自分なりの精一杯で頑張ります！



長生園

**佐藤 支援員**

趣味：旅行  
福祉の仕事は初めてであり、新鮮な驚きを持って日々業務に取り組んでいます。入所者の皆様に寄り添った支援を心がけていきたいと思っております。



長生園デイサービスセンター

**大久保 看護師**

趣味：映画鑑賞・温泉巡り  
利用者様の健康を守るよう頑張ります。



浩々学園

**島守 児童指導員**

趣味：YouTube をみること  
子どもたちが安心して楽しく暮らせるようサポートしていきます。

# 令和5年度 決算報告

資金収支計算書 (自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動収入計(1)	988,167,000	1,012,210,378	△ 24,043,378
事業活動支出計(2)	1,017,666,000	977,992,368	39,673,632
事業活動資金収支差異(3) = (1) - (2)	△ 29,499,000	34,218,010	△ 63,717,010
施設整備等収入計(4)	8,148,000	8,148,190	△ 190
施設整備等支出計(5)	37,159,000	36,951,650	207,350
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	△ 29,011,000	△ 28,803,460	△ 207,540
その他の活動収入計(7)	0	0	0
その他の活動支出計(8)	12,512,000	12,508,939	3,061
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	△ 12,512,000	△ 12,508,939	△ 3,061
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	△ 71,022,000	△ 7,094,389	△ 63,927,611
前期末支払資金残高(12)	309,364,000	309,367,582	△ 3,582
当期末支払資金残高(11) + (12)	238,342,000	302,273,193	△ 63,931,193

事業活動計算書 (自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

(単位：円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計(1)	1,007,124,460	981,036,521	26,087,939
サービス活動費用計(2)	1,019,248,808	1,010,815,622	8,433,186
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	△ 12,124,348	△ 29,779,101	17,654,753
サービス活動外収益計(4)	5,085,918	4,854,519	231,399
サービス活動外費用計(5)	3,000,362	2,816,904	183,458
サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	2,085,556	2,037,615	47,941
経常増減差額(7) = (3) + (6)	△ 10,038,792	△ 27,741,486	17,702,694
特別収益計(8)	8,148,190	3,762,710	4,385,480
特別費用計(9)	8,174,905	1,600,006	6,574,899
特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 26,715	2,162,704	△ 2,189,419
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	△ 10,065,507	△ 25,578,782	15,513,275
前期繰越活動増減差額(12)	618,401,459	652,988,992	△ 34,587,533
当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	608,335,952	627,410,210	△ 19,074,258
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	12,508,939	9,008,751	3,500,188
次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	595,827,013	618,401,459	△ 22,574,446

貸借対照表 令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	365,455,803	356,395,580	9,060,223	流動負債	114,691,779	98,308,189	16,383,590
				固定負債	194,717,000	214,661,000	△ 19,944,000
固定資産	1,795,533,969	1,851,159,040	△ 55,625,071	負債の部合計	309,408,779	312,969,189	△ 3,560,410
				純資産の部			
基本財産	1,180,604,830	1,239,637,860	△ 59,033,030	基本金	3,000,000	3,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	793,517,323	826,456,254	△ 32,938,931
その他の固定資産	614,929,139	611,521,180	3,407,959	その他の積立金	459,236,657	446,727,718	12,508,939
				次期繰越活動増減差額	595,827,013	618,401,459	△ 22,574,446
資産の部合計	2,160,989,772	2,207,554,620	△ 46,564,848	(うち当期活動増減差額)	△ 10,065,507	△ 25,578,782	15,513,275
				純資産の部合計	1,851,580,993	1,894,585,431	△ 43,004,438
				負債及び純資産の部合計	2,160,989,772	2,207,554,620	△ 46,564,848